

エコビレッジ構想推進モデル事業

目的

エコビレッジ推進費 平成28年度予算額:3,000千円

- エコビレッジ構想を推進するため、市内の地域・集落や団体などを事業主体としたエコビレッジ実践事業に対して支援する。モデル事業の取り組みを広く市内で紹介することでエコビレッジの推進を図る。
- 地域や集落、団体などが自主的に提案する事業計画について公募し、公開審査により選定されたエコビレッジの普及啓発に有効な事業を支援していくことで、市内各地にエコビレッジ実践活動を展開していく。

【ポイント】

- ✓多くの市民にエコビレッジについて考えてもらい、実践活動を始めてもらう
- ✓地域や集落、団体などが連携し、取り組むことで新たなつながりを築く
- ✓市民協働の先進的なエコビレッジ事業が将来の地域づくりに活かされる

コンセプト

- 地域の資源を活用した持続可能な取り組み
- 地域の自立や循環型社会の形成に地域ぐるみで取り組む

南砺市

- 補助率8/10(上限300万円)、情報提供、支援

1次(生産など)

事業主体(集落・団体など)

2次(加工など)

6次化サイクル

- 先進的なエコビレッジ活動を集落(団体)で取り組む

3次(販売など)

事業内容

農林業や環境保全

- 耕作放棄地の解消や有機農業など、元気な農業
- 里山の再生や地域の環境保全活動、美化運動
- 農業機械、看板作成費、車両借上料、廃棄物処理費など

再生可能エネルギー

- 小水力発電や木質燃料製造による自然エネルギーの創出
- 発電や製造設備の整備
- 講師謝礼、設備工事費、運搬費、など

健康・福祉・介護

- 地域内福祉サービスシステム
- 地域内での福祉配食サービスや買い物サービス、安否確認など
- 車両購入費、厨房設備費、什器類購入費、通信連絡費など

人材育成

- 地域ぐるみの講座や研修など、人材育成事業の開催
- 地域経済活性化イベントや伝統文化の保存活動
- 使用料、謝礼、消耗品、交通費、記録作成費など

南砺市エコビレッジ構想にある「地域資源を活用した持続可能な循環型社会」の実現を図る